



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸谷 義雄
題字 井戸 知事

無事故への
構え一分の
隙も無く



「姫路城を背にしたはしご乗り演技」

令和二年の新春にあたり、謹んでお慶び申し上げます。消防団員、消防職員並びにご家族の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、当協会の運営や活動に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。日々厳しい訓練を重ねられ、地域住民の生命と暮らしを守るため献身的にご尽力されておられますことに対しまして、心より敬意を表するとともに、新

しい年を迎え、消防人としての誇りを胸に、地域を守る決意を新たにされていることと存じます。

さて、昨年は、京都市伏見区での爆発火災、沖縄県のシボルで世界遺産でもある首里城の大部分が焼失する大規模な火災に加え、九州北部豪雨、各地で河川が氾濫し、広範囲な浸水や土砂崩れが相次いだ台風第一五号や一九号など、各地で様々な火災や災害が発生しております。

これらの火災現場や自然災害におきましても、地域の最



新年のごあいさつ

公益財団法人 兵庫県消防協会

会長 岸谷 義雄



新年あけましておめでとうございませう。

阪神・淡路大震災から間もなく二五年を迎えます。この間、国内外の人々が驚くほどの創造的復興をなすとげました。しかし、危機に陥った財政の建て直しに取り組みざるを得ないなど、苦難の連続でした。令和の時代の到来とともに、新たなステージへのスタートを切る環境が整いました。

二五年目の節目を機に改めて原点に立ち返り、震災の経

験や教訓を忘れず、伝え、これを活かし、しっかりと備えていきます。

この安全安心の基盤の上に、二〇二〇年の展望の具体化を取り組み、未来へのシナリオをしっかりと進めていきます。

第一は、安全安心な兵庫の構築。二〇二五年問題に対応するための在宅医療・介護体制の充実や地域医療の確保など、安心して暮らせる基盤をつくりま

第二は、地域の元気づくり。人口流出に歯止めをかけ、社会減を解消し、自然減を縮小する人口対策に取り組みます。次世代産業の創出を支援し、起業しやすい環境を整えます。農林水産業の基幹産業化も推進し、活力ある兵庫をつくりま

第三は、交流・環流の促進。五国の魅力を活かし、観光交流、スポーツツーリズムを推進し、交通インフラの整備を加速させます。三宮再整備や



令和二年新春メッセージ 復興の、その先へ



井戸 敏三

県庁舎の建替など、まちの再生を急ぎます。

私たち兵庫は、震災という誰も経験したことのない試練を一丸となつて乗り越えてきました。復興のその先の新たなステージでも、課題に対して果敢に挑み、ともに手を携え、すこやかな兵庫の実現をめざしましょう。



年頭の辞

令和二年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様方には、平素から消防防災活動や消防関係団体業務などに御尽力頂いており、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

ご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また、災害現場においては、被災地の消防本部や地元消防団はもとより、被災状況により県内消防応援隊や緊急消防援助隊も総力を挙げて救急・救助活動等に当たって頂き、多くの人命を救助して頂きました。改めて皆様のご活躍・ご尽力に敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。

消防庁長官

林 崎 理



神・淡路大震災を受けた災害対策法制の見直し（平成七年）、緊急消防援助隊の法律への位置づけ（平成一五年）、東日本大震災（平成二三年）を受けた相互応援の強化や住民の円滑かつ安全な避難の確保など、我が国においては不可避である大災害の不幸な経験を経つつ、被害の最小限化を目指して不断の努力を積み重ねてきた時代でした。

また、昨年は、G二〇大阪サミット、ラグビーワールドカップ二〇一九及び皇位継承式典等という大規模で歴史的な行事が続ぎ、消防庁としても、関係府省庁及び各自治体・消防本部と連携し、安心・安全対策に取り組み、万全な消防・救急体制を整えた

とあります。本年はいよいよ夏に二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。皆様方におかれましては、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりとそれを支える我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展のため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶
謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
公益財団法人 兵庫県消防協会
令和二年元旦
総 裁 井戸 敏三
副総裁 金澤 和夫
会 長 岸谷 義雄
副会長 小西 元八
岸野 雅信
田中 康弘
坂本 信嘉
中西 君一
山田 好則
西岡 安雄
荻野 克己
細川 知大

あれから二五年ですね。——新春ごあいさつ——

公益財団法人 日本消防協会

会長 秋本 敏文



明けましておめでとうございます。兵庫県消防の皆様にとつて、今年が無事平穏なよい年でありますようお願いいたします。

今年、あの阪神・淡路大震災から二五年を迎えます。近年初めての大都市を直撃する大規模地震で、大きな被害をもたらしました。兵庫県の皆様にとつて決して忘れることができない大変な体験であったと思います。あの時お亡くなりになった方々のご冥福を今もお祈りせずにはいられません。

あの年六月、私は当時の自治省消防庁長官に就任し、緊

急消防援助隊の創設による全国的な応援体制の整備に関わるなどいろいろな経験をしました。それぞれに貴重な、そしてその後の日本消防のあり方に関わることがいくつもありましたが、退官後もずっと気になっていたもののひとつは、全国的な応援体制とともに、地域の皆さんによる地域防災体制を整備するということでした。

その後、日本消防協会に勤務することとなった後に、東日本大震災が発生し、その時あらためて地域防災体制の重要性を痛感しました。そこで、これを国の政策として進める

ことを明確にする法律の制定を要望したのですが、国会議員の皆様のご理解を頂いて「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を制定して頂きました。最近、思いがけない、さまざまな火災、自然災害が各地で発生しています。人口動態等社会の状況も変化しているなか、消防は、どのような事態がありましても自らの安全を守りながら、住民の皆様

実強化はやはり当面する大きな課題であると思います。勿論、このことだけでなく、広範な、いろいろな課題がありまので、私たちは、阪神淡路大震災の教訓をいかしながら、常備消防、消防団はもとより、学者研究者、消防機器メーカー、女性防火クラブ等、幅広い消防防災関係の方々のお知恵、お力を結集して、消防防災総合力を高めることも必要だと思えます。いわば一億総参加、一億総活躍で努力しなければならぬと思います。阪神・淡路大震災から二五年の時を迎え、これらのことをあらためて思いながら、兵

Illustration of a crane and a fan.
公益財団法人 兵庫県消防協会
令和二年元旦

令和元年 秋の叙勲(消防関係)伝達式が挙行

(敬称略 順不同)



【受章者の皆様】

令和元年秋の叙勲が一月三日に発令されました。叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六〇三名、うち兵庫県では、元消防職員二名、元消防団員一四名が叙勲の栄に浴されました。

受章者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

叙勲の伝達式は、令和元年一月二二日(木)にニッショーホールで盛大に挙行されました。

《全国消防関係受章者数》

- 瑞宝中綬章 一名
- 旭日小綬章 一名
- 瑞宝小綬章 二七名
- 旭日双光章 二名
- 瑞宝双光章 六八名
- 瑞宝単光章 五〇四名
- 計 六〇三名

〈兵庫県下受章者(消防功労)〉

◎瑞宝小綬章

元神戸市 消防司監 小野田敏行



元神戸市 消防正監 南川 義信



◎瑞宝双光章

元姫路市姫路西消防団 長 大塚 秀祐



◎瑞宝単光章

元神戸市須磨消防団 副団長 鈴木 祥弘



元神戸市北消防団 副団長 上仲 良一



元姫路市飾磨消防団 副団長 大前 信行



元尼崎市消防団 分団長 吉野 生人



元明石市消防団 副団長 田中 勇



元西宮市消防団 分団長 岡田 和泰



元西宮市消防団 分団長 茶谷 巖



元芦屋市消防団 分団長 田中 伸幸



元相生市消防団 副団長 絹笠 健三



元高砂市消防団 分団長 三村 一三



元淡路市消防団 副団長 松本 節夫



元稲美町消防団 副団長 福島 隆雄



元香美町消防団 副団長 西内 一博



令和元年度秋の褒章伝達式

令和元年度秋の褒章が一月三日に発令

消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく授与される藍綬褒章は全国で九五名、うち兵庫県では芦屋市消防団の岸野団長が受章の栄誉に輝きました。

伝達式は令和元年一月二七日(火)にスクワール麹町において行われました。

《兵庫県下受章者(消防功績)》

◎藍綬褒章

芦屋市消防団 団長 岸野 雅信



消防関係褒章伝達式
総務省 消防庁

第三回 危険業務従事者叙勲が 令和元年一月三日に発令

叙勲の榮に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年により著しく危険性の高い業務

に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。受章者は、全国で瑞宝双光

章二九一名、瑞宝単光章三二七名、計六一八名、うち兵庫県関係では、二二名の消防職員が受章されました。叙勲の伝達式は、令和元年

(敬称略 順不同)

一二月二一日(水)に総務省講堂で盛大に挙行されました。

兵庫県下受章者(消防関係)

◎瑞宝双光章



【受賞者の皆様】

- | | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 
元北はりま消防組合
消防監 西田 藤一 | 
元南但広域行政事務組合
消防司令長 中島 正昭 | 
元淡路広域消防事務組合
消防司令長 柏木 康宏 | 
元神戸市
消防監 小野 泰男 | 
元芦屋市
消防司令長 樋口 文夫 |
| 
元小野市
消防司令 小林 博 | 
元西はりま消防組合
消防司令長 日下 誠人 | 
元川西市
消防司令 甲斐 五郎 | 
元尼崎市
消防司令 大野 憲彬 | 
元三木市
消防司令 有馬 昌信 |
| 
元姫路市
消防司令長 船越 英二 | 
元淡路広域消防事務組合
消防司令長 東田 恵裕 | 
元神戸市
消防司令長 西井 政晴 | 
元西宮市
消防司令長 中島 眞二 | 
元南但広域行政事務組合
消防司令 田路 雅洋 |
| 
元神戸市
消防司令長 渡邊 勤 | 
元三木市
消防司令 安居 幸一 | 
元加古川市
消防司令長 宮田 正 | 
元三田市
消防司令 的場 明 | 
元高砂市
消防司令 松本 敏裕 |
| | | | | 
元神戸市
消防司令長 堀之内和巳 |



第二四回全国女性消防操法大会開催 芦屋市女性消防隊、「優秀賞」受賞!!

(公財)兵庫県消防協会事務局



開会式

令和元年十一月一三日
(水)、神奈川県横浜市の赤レンガ倉庫イベント広場において、第二四回全国女性消防操法大会が開催されました。

本大会は、女性消防隊の消防技術向上と、土気の高揚を図り、地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、隔年で開催されています。四七都道府県の代表が、それぞれ訓練を重ね、安全で確実に、迅速な行動を基本とした軽可搬ポンプによる基本操作の技術等を競いました。

当県からは、芦屋市女性消防隊(芦屋市消防団)が代表として出場し、見事六位(優秀賞)という素晴らしい成績を修め、さらに三番員の和田友見子さんと四番員の信岡史恵さんが優秀選手として表彰されました。

芦屋市女性消防隊の皆さんは、操法経験ゼロからのスタートでした。県代表として出場が決定してから当日まで、一生懸命訓練を重ね、この度の結果につながりました。

県協会事務局も、何度か練習を拝見しましたが、いつもにこやかな女性団員の皆さんが、練習ではきりつとした表情で、真剣にお互い声を掛け合って訓練に励まれていました。そして、選手の皆さんだけではなく、団長をはじめ幹部の皆さん、サポートされている団員の皆さん、消防本部の皆さん、そしてそれぞれのご家族が一丸となり、チームを支えておられることが、ひしひしと伝わってきました。

大会当日は、選手の皆さんには時折笑顔も見られました。が、やはり緊張されている様子でした。その緊張に打ち勝ち、素晴らしい結果を残してくださいました。芦屋市女性消防隊の皆さん、改めてお疲れ様でした。そして応援者や各種サポートをされた関係者の皆さまもお疲れ様でした。

【大会日程】

・ 激励交流会

令和元年十一月二日

(火) 一七時二〇分

パシフィコ横浜会議センター(横浜市)

大会

【大会結果】

優勝

熊本県 八代市本部女性消防隊

準優勝

佐賀県 唐津市女性消防隊

準優勝

山口県 和木町女性消防隊

令和元年十一月一三日

(水) 九時

赤レンガ倉庫イベント広場

(横浜市)

優秀賞

三重県 伊賀市女性消防隊

埼玉県 三郷市女性消防隊

兵庫県 芦屋市女性消防隊

兵庫県 加賀市女性消防隊

石川県 瀬戸市女性消防隊

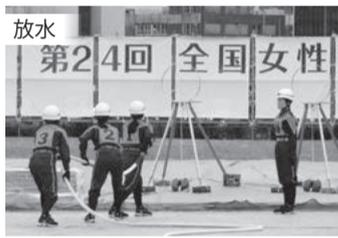
愛知県 山県市女性消防隊

岐阜市 北上市女性消防隊

岩手県 三豊市女性消防隊

香川県 浦安市女性消防隊

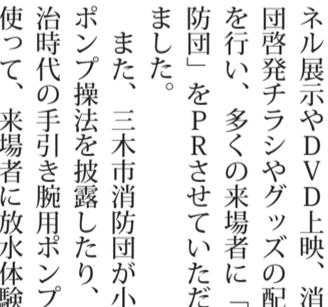
千葉県



開会式(防災監あいさつ)



三木市消防団小型ポンプ操法披露



開会式の様子



子ども達もたくさん来てくれました



三木市消防団小型ポンプ操法披露



開会式の様子



明治23年配備の手引き腕用ポンプを使った放水体験



展示ブースへ来てくださった 亀井県災害対策局長と北田県消防課長



色々な消防車両の写真に興味津々

兵庫県広域防災センター実戦デモ

— 震災を風化させない —

県消防協会もブース展示参加

(公財)兵庫県消防協会事務局

令和元年一〇月二七日(日)、素晴らしい秋晴れの中、兵庫県広域防災センターにて、実戦デモが開催され、子ども達からお年寄りまでたくさんの来場者がありました。関係各機関の訓練展示やブース展示だけではなく、起震車による地震体験、煙避難訓練も行われ、さらに、自衛隊による炊出訓練では来場者にカレーがふるまわれました。県消防協会もブースにて、パネル展示やDVD上映、消防団啓発チラシやグッズの配布を行い、多くの来場者に「消防団」をPRさせていただきました。

また、三木市消防団が小型ポンプ操法を披露したり、明治時代の手引き腕用ポンプを使って、来場者に放水体験をしていただいたり、子どもも大人も楽しみながら消防団の活動を知っていただくことができました。

来場者からは、「近所の方が消防団に入っている。」「自

分は消防団員です。」と「消防団」を認識されている方もいれば、「自分の住んでいる地域に消防団はあるのか?」「消防団ってどんな活動しているの?」と「消防団」の認識が薄い方もおられました。今回のイベントには、子ども達からお年寄りまで、様々な年代の方々が来場されます。少なからず「消防」「防災」に興味を持ってもらえるからこそ来場して下さった方々

だと思えます。このような場所ので「消防団」をPRすることとは、「消防団」への認識や興味に繋がります。それが、団員確保の第一歩になると実感しました。今後もこのような機会を活かし、県消防協会としても「消防団」のPRに努力して参りますので、県内各支部の皆様もご協力をよろしくお願ひします。

わが町の団長さん

「淡路市消防団は安全第一!」

淡路市消防団

上田 富弘



淡路市消防団は平成一七年の淡路市誕生と同時に発足し、現在は五地区、二五分団、消防ポンプ自動車八台、小型動力付積載車八一台、団員数一七五二人体制で、日夜消防活動に精励しています。

上田団長は、平成七年に旧津名町消防団に入団され、平成二五年に津名地区団長、平成二七年には副団長に就任され、平成三一年より淡路市では五代目の消防団長を拝命されました。また、平成一六年の台風二

怪我をすることのないよう、常に安全第一で消防活動に取り組みます。

「ロックな団長」

洲本市消防団

中原 章晴



洲本市は、淡路島の中央部に位置する人口約四万四千人のまちです。市内には大浜海岸、三熊山、成ヶ島といった瀬戸内海国立公園の指定地域もあり、自然豊かな市です。

また、ドラゴンクエストシリーズの生みの親である堀井雄二氏の出身地で、市民広場には記念碑も建てられています。洲本市消防団は、本部及び一六の分団で構成されており、その先頭に立つのが、中原団

長です。団長は昭和六二年四月に入団され、平成三一年四月に団長に就任。火災発生時にはいち早く現場に駆けつけ、陣頭指揮をとる行動力に溢れた団長です。普段は中原水産という水産加工場と直営食堂を営まれ、絶品のシラス丼を提供する一方、全国大会で三位となったアマチュアロックバンドのギタリストとしての一面を持つ「ロックな団長」です。

そんな団長も平成一六年の台風二三号災害の際には、洲本川の氾濫で、自宅が床上浸水する中、地元消防団の分団長として避難の呼び掛けや逃げ遅れた高齢者の救出活動に奔走されました。

これからの抱負をお聞きすると、「近年は過去の経験を上回るような災害が全国で続いており、市民の消防団員への期待も高まっている。特に安全管理については再徹底して任務にあたりたい。」と熱く話されました。

これからの洲本市消防団にどうぞご期待ください!!

われら若手消防団員

～母の背を見て消防団へ～

川西市消防団第11分団 (愛称: チェリーファイアー)

松浦 柚美



私が、川西市女性消防団に入団したのは、母親の影響です。

母親は川西市女性消防団が結成された平成五年八月から消防団員として活動していました。私が幼い頃から、一ヶ月に一度の定例会議と一緒に連れていってもらったり、消防団活動の話を聞いて育ったからか、消防団のことを身近に感じていました。

一八歳になったと同時に、私も当然のように入団していました。

男性団員とは違って火災現場への出勤はありませんが、市の行事(花火大会やマラソン大会)で救護班として出勤する他、防火・防災啓発活動や CPR 講習会などを通じて、一人でも多く

の命を助けられるよう思いを込めて活動に参加してきました。

自分自身、とても学ぶことが多く、やりがいを感じています。

また、入団二年目の時には、市の消防ポンプ操法大会に一番員として出場。三月・四月の二ヶ月間、男性団員や母親に熱烈指導を受け、見事「優勝!!」とまではいきませんが、好成績を収めることができました。

入団から早くも六年になるうとしています。学生から社会人となった現在、不規則勤務の仕事で、消防団活動には様々な制約がありますが、初心を忘れず、母親と共にこれからも頑張りたいと思っています。

がんばってます、女性消防団員

『神戸女子大学 学生消防団員』

神戸市須磨消防団

団員 高見あすか

神戸市須磨区は、南部に平家物語にも謳われた、鴨越の逆落として有名な一ノ谷合戦の舞台があり、北部は大規模ニュータウンとして構成されています。

また、自然豊かな六甲山の山並みと、美しい須磨海岸の砂浜があり、神戸市民はもちろん、県外からの観光客にも人気のある素敵な街です。

このように「地域力」と「情熱」があふれる街にある大学「神戸女子大学」の学生消防団員を紹介します。

神戸女子大学は、二〇一〇年四月に、女子大学では国内初めてとなる「消防団協力事業所」に認定されました。今年も登録一〇年を記念する年になります。現在、神戸女子大学には、私たち学生消防団員一三名が在籍しています。

私たちが実際に活動している内容の一部を紹介すると、主に防災に関する広報活動、地域の防火・防災訓練での住民の方への防火指導、さらに救急インストラクター(神戸市での呼び名で、一般的には「応急手当普及

員」という。)の資格を保有し、各種団体や学校等で行われる救急講習会の指導員として活動を行っています。

今後は私たちが卒業した後も、次の世代へ知識や技術を引き継ぎ、長きにわたって地域の方々に愛され、また、頼りにされる存在を目指し、前進していきたく考えています。



前列中央が筆者



区民大会での広報活動

お悔み

(公財)兵庫県消防協会



令和元年一二月二七日(金)、小野市消防団 団長飛田佳孝氏が御逝去なさいました。飛田氏は平成二六年五月より当協会の評議員を、令和元年五月からは監事を歴任され、当県の消防団活動の充実強化に寄与してくださいました。

ご逝去の報に接し、謹んでお悔み申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

地域のお知らせ

小野市

山田錦を味わい尽くす

酒米の王様と呼ばれる「山田錦」を使った小野市の逸品を味わってみませんか。

市内では、酒米山田錦の生産が盛んで、特に市の東部にあたる下東条地区は、高品質とされる地域ランク特A地区。それらの酒米で作ったお酒として、平成三〇年五月に「生一本純米吟醸」を、一二月には精米歩合三五パーセントの「純米大吟醸」を販売。さらに今年も、それらのお酒を使ったスイーツ四種が誕生しました。

そんな辰野町で江戸後期から創業一五〇年以上の歴史をもつ(株)小野酒造店が、小野市の山田錦を使った日本酒「おの恋」を製造しています。

同店の杜氏は、純米大吟醸への思いも強く、麴を作る工程では蔵に泊まり込み、二時間おきに様子を見ているそうです。

●おの恋生一本純米吟醸
同店イチおしの商品で、フルーティーですっきりとした飲み口。



●おの恋純米大吟醸
やわらかさのあるフルーティーな香りで後味すっきり。ワイングラスで飲むのがおススメ。



●日本酒「おの恋」を使った逸品スイーツ

こだわり抜いて作られた日本酒「おの恋」を使ったお菓子(スイーツ)づくりは、市内洋菓子店が挑戦。特産品にこだわった逸品スイーツとして新たに販売を開始します。



高温の蒸米を手で均一に広げて冷ます作業(株)小野酒造店で

和酒館(わしゅあん)

店舗のイメージであるクマをあしらったマドレーヌ生地にお酒を混ぜ込んだ餡入り。

おの恋カステラ

お酒を混ぜ込んだカステラ。酒を飲み交わすように、カステラを囲んで楽しい時間を。

日本酒ボンボン

市内にある浄土寺にちなみ、形は仏像の顔。中からあふれ出す日本酒はフルーティー。

米の雫

酒米の形をしたメレンゲ。運が良ければ、幸せを感じるハート形と出合えるかも。



和酒館 (パティスリーアプレシエ)



おの恋カステラ (パティシエゲンタロウ)



日本酒ボンボン (アベニュー・ド・ラペ)



米の雫 (お菓子の家シェシエ)

人と緑のホームタウン いなみ

稲美町



ため池群

人で賑わっています。これらため池や水路、水田、集落によって構成された稲美町特有の景観は、文化庁から「稲美のため池群」として、文化的景観の重要地域に指定されています。

当町には、国道や鉄道の乗り入れはありませんが、近隣の四市に囲まれた地理的条件から、基幹産業の農業のほか、住宅地や工業用地としても開発が進んでいます。

「令和」ゆかりの地 いなみ野万葉の森

稲美町は古来より万葉集に詠まれた「いなみ野」に位置し、「いなみ野万葉の森」は当時のいなみ野と瀬戸内海を形造った日本庭園です。

園内には約一二〇種類の万葉植物や「いなみ野」が詠まれた歌碑があり、新元号「令和」の典拠となった万葉集の歌も三〇年以上前から「いなみ野万葉の森」に歌碑として設置されています。

新元号のゆかりの地としてテレビや新聞で取り上げられたこともあり、多数の来園者

が訪れています。偶然にも、歌碑では「令」「和」の字が横に並んでいます。

平成三〇年度には園路等の改修を行うとともに新たに数奇屋門の入口が完成しました。敷地内にある憩いの館では、無料湯茶サービスをしています。

ぜひこの機会に、いなみ野万葉の森にお立ち寄りください。

所在地

加古郡稲美町国安二二八六一五五

電話

〇七九四九二二三七七〇

開園時間

七〇九月/九時三〇分〜一七時〇〇分

休園日

毎週月曜日、年末年始(一月二八日〜翌年一月四日)



万葉の森

編集後記

あけましておめでとうございます。

毎日寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新年を迎え、決意も新たに消防団活動に取り組んでおられることと存じます。

さて、今月号では各団体の代表者の年頭のあいさつを掲載しております。

また、三面・四面では、秋の叙勲・危険業務従事者叙勲の記事を掲載しております。受賞者の皆様、誠におめでとございます。

本年も引き続き「兵庫消防」のご愛読をよろしく願っています。

「お詫び」
兵庫消防一二月号「ひょうご消防のつどい二〇一九の開催」の記事において、誤記がございました。

(誤)「加古川市消防本部」
(正)「加古川市消防団」

お詫びして訂正いたします。

兵庫県消防協会 Facebookページの開設のお知らせ

公益財団法人兵庫県消防協会では、県下消防団の活躍を広めるため、Facebookページを開設致しました。各消防団の活動について、投稿をしていきますので消防団員の皆様には是非、当協会ページのフォローをお願いします。

また、皆様の活躍を広く県民の方などへお届けできますよう、当協会ページや投稿記事をシェアしていただき、友達へ拡散していただけますようお願いいたします。



FacebookページのURL
<https://www.facebook.com/hyoshokyo>

アクセスはこちらから

